

きたえた技を

今ここに！



'97 12/15

12/15号目次

- 「臨空都市“たかのす”まちづくり検討委員会」、町長日誌 3
- 「平成9年はこんな年、広報でこの一年をふりかえる」 4
- 福祉自治体ユニットが設立 8
- 第10回東京鷹巣会が開かれる 10
- まちの話題 11
- 福祉メモ 12
- 健康ごよみ 13
- 第33回読書感想文、第1回感想画コンクール作品募集 14
- 暮らしの情報 15
- 冬到来！除雪と雪の処理についてのお願い 18

〔表紙のことば〕



鷹巣祇園太鼓振興会(今立明代表)主催の第7回祇園太鼓審査会が11月24日、たかのす風土館で開かれ、参加したおよそ200人の子どもたちが日頃きたえたバチさばきを競い合いました。

ステージでは、いずれもレベルの高い演奏ばかりで、審査員は採点に頭を悩ませ、会場からは演奏が終わるたびに大きな拍手が送られていました。

人口と世帯数	11月30日現在
	住民基本台帳による

総人口	22,855人 (7人減)
男	10,943人 (3人減)
女	11,912人 (4人減)
出生	13人 転入 39人
死亡	18人 転出 41人
世帯数	7,538世帯 (3世帯増)

カルチャー&スポーツ



フアルコン

12・20(土) 「ルンビニ幼稚園ピアノ教室発表会」 無料/自由 14:00~

おはなしでてこい

スペシャル

12/20(土)

14:00~15:00

人形劇「ブレーメンの音楽隊」

大型紙しばい「たからのげた」など

手作りおやつのおみやげもあるよ!



12・21(日) 映写会「地球が動いた日」 ①13:30~
前売 1000円、当日 1200円/自由 ②16:00~

12・23(火) 「鷹巣混声合唱団第21回クリスマスコンサート」
500円/自由 開演14:30~

12・27(土) 「アンサンブルコンテスト鷹巣阿仁地区大会」
無料/自由 10:00~

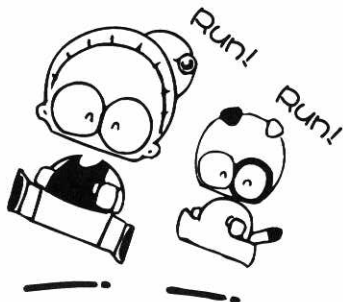
1・9(金) 映写会「もののけ姫」3日間上映
10(土) 割引券 一般高校1200円 3歳以上中学生以下800円/自由
15(木) ①10:00~②12:30~③15:00~④18:30~
詳しくはファルコン(☎62-3311)まで

スポーツ

第17回元旦マラソン

参加募集

チャレンジコース4Km ファミリーコース2Km



期日 平成10年1月1日(木)

参加受付 午前9時00分~

開会式 午前10時00分

スタート時間(予定)

2Km 午前10時30分

4Km 午前10時50分

集合場所 鷹巣町中央公民館

◎お申し込み 平成9年12月24日(水)まで参加申し込み用紙にて
鷹巣体育館62-3800F A X可

●参加料 300円(ゼッケン代として当日納入してください)

※当日の申し込みも可能ですが、完走証に名前が記入されません。

主催 鷹巣町陸上競技協会

後援 鷹巣町 鷹巣町教育委員会 (財)鷹巣町体育協会

町長日誌

11/16~30

16日(日)男女共同参画地域づくりフォーラムの開会式に出席。
17日(月)鷹巣町ランドゴルフ協会会長杯並びに教育長杯ランドゴルフ大会開会式に出席、今年の玉納めとなった同大会の成功と好プレーを願い激励のことばを述べた。

18日(火)鷹巣阿仁広域市町村圏組合の管理者、副管理者会議に出席。

19日(水)あきた北空港開港イベント実行委員会に出席、「10月のプレイベントでは約1万5千人の来場者があり、改めてあきた北空港に対する関心、興味の高さを認識させられた。来年行われる開港記念イベントはそれをはるかに上回る来場者が予想される。皆さんで意志統一を図り、実りあるイベントにしてほしい」とあいさつ。来年6月14日に実施することなどを決定した。

21日(金)秋田県町村長研修会に出席。

21日(金)道路整備促進全国総決起大会に出席。

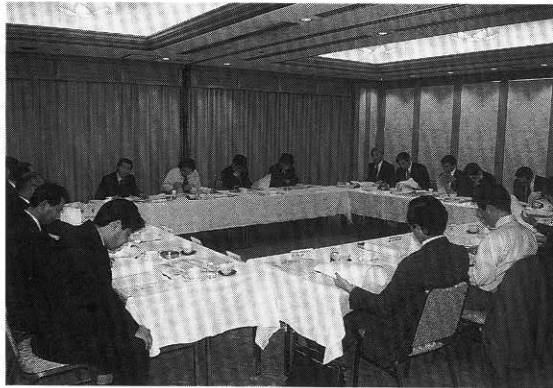
23日(日)福祉自治体ユニット(住民サイドの福祉行政を進める市町村長の会)設立総会・記念シンポジウムに出席。

24日(月)首都圏に在住する鷹巣町出身者の会『東京鷹巣会』の設立10周年記念総会に出席、あきた北空港やケアタウン事業・伊勢堂岱遺跡等、町行政の現況などを報告し交流を深め合った。

25日(火)第2回臨空都市“たかのす”まちづくり検討委員会に出席、委員である建設省や県の専門スタッフより各種の提言や情報を提供していただき、今後の具体的方策など計画策定に向けた検討がなされた。

27日(木)鷹巣町議会決算特別委員会に出席。

30日(日)鷹巣町森林組合臨時総会に出席、祝辞を述べた。



11月25日に開かれたまちづくり検討委員会

あきた北空港の開港とあわせ、二十一世紀の新しい時代に的確に対応できるまちづくりをめざして発足した、「臨空都市 たかのす」まちづくり検討委員会(委員長清水浩志郎秋田大学教授)の第二回委員会が十一月二十五日、東京都千代田区アルカディア市ヶ谷で開催されました。

この日の委員会には、清水委員長をはじめ、建設省から中村英夫都市計画課長補佐、古澤達也同課長補佐、秋田県から大嶋直樹都市計画課長補佐、課長補佐、町からは町長、助役、地域政策課長ほか8名が出席し、第一回委員会での討議をうけた具体的なまちづくりの提案となる「ランド

デザイン(基本計画)」について、まちの構造、戦略プロジェクト等に対する検討が行われました。

「まちの構造」については、中心市街地、空港周辺等の拠点となる地区を設定し、それらを核とした新たな機能立地と、調和のとれた土地利用の誘導を図りつつ、町内、町外を連携させる交通体系を構築し、移動しやすいまちを形成することを基本とした案を示しながら、各拠点地区の事業展開について検討されました。

また、まちのランドデザインを実現していくための「戦略プロジェクト」については、コンパクトな市街地と中心市街地におけるゾーンの形成、南北及び東西のシンボル軸の形成、歩きやすく、楽しいネットワークの形成を図ることを基本とした案についての検討が行われました。

これらの中で、各委員からは「地域連携の活用」「拠点の連続性と広がりが必要である」という意見が出

されたほか、建設省の委員からは「鷹巣らしさをどう見つけていくか、地域に根ざしたまちづくりが必要」等の意見が出されました。

最後に岩川町長が「緊急課題として町の空洞化を避けること、そして将来的に住んでいて良かったと誇れる町にしたい」とあいさつし、あわせてまちづくりの実現化の方法について、次回の検討課題とすることとしました。

臨空都市 たかのす 「まちづくり検討委員会」 鷹巣らしい誇れるまちに――



9月には商店街を視察しました



来年7月の開港が待ち遠しい「あきた北空港」

『広報たかのす』で この一年をふりかえる

平成九年は、こんな年でした。

何かと話題の多かった平成九年もあと半月で終わろうとしています
が、皆さんにとってはどんな年だったでしょうか。

今年は、神戸の小学生殺害事件やペルーの大使公邸人質事件など暗
い事件もありましたが、サッカー日本代表のワールドカップ初出場決
定や土井隆雄さんが宇宙遊泳に成功するなど、明るい話題で新しい年
を迎えようとしています。

一方、町に目を向けると、ケアタウン施設の建設がいよいよ始ま
り、また来年七月に開港するあきた北空港に初めて飛行機が着陸する
など、町にとってはうれしい出来事もたくさんありました。そんな一
年を広報に掲載された話題を中心にふりかえってみましょう。

一月(睦月)

- 1日 元旦恒例の『ぱりじよ
つこ』今年も東軍の勝ちで
「家内安全！」
- 1日 親子連れなど約二百人
が参加して第十六回元旦マ
ラソンが開かれる
- 4日 鷹巣町消防団出初式が
行われる



- 4日 当町出身プロ野球オリ
ックス・ブルーウェーブの
「中嶋聡選手激励会」が開
かれる
- 6日 鷹巣建設技能組合創立
四十周年記念式典が開催
される
- 9日 商工会主催の「新春交
流会」が開催
- 15日 J A鷹巣町青年部によ
る小正月行事「雪中田植え」
が行われる
- 19日 「鷹巣町縄文シンポジ
ウム」が中央公民館で開催
- 26日 第三十五回町民スキ
ー大会開催
- 27日 第八回鷹巣町新春農業
振興サミットが開かれる
- 27日 鷹巣町芸術文化協会主
催の「新春芸文交流会」が
開催される
- 30日 鷹巣町物産協会主催の
「餅の講演会」が開かれる
- 5日 東北大学助教授、外山
義氏による「福祉のまちづ
くり講演会」が中央公民館
で開催
- 8日 小野裕子さん(舟見町)
が全国子ども会連合会長表
彰を受賞
- 16日 福祉のまちづくりワ
ー

二月(如月)

キンググループ主催「公開住宅セミナー」開催、神戸大学名誉教授の早川和男氏による基調講演が行われる

16日 第一回東北アンサンブルフェスティバルがフアルコンで開催される

18日 七日市葛黒地区の小正月行事「火祭りかまくら」が行われる



三月(弥生)

3日 秋田くまげらインターネット協議会が設立

9日 第三十二回読書感想文コンクール表彰式行われる

11日 町議会三月定例議会が開会(二十五日閉会)

16日 商工会青年部主催のイベント「縄文ロマンへのタイムトラベル・伊勢堂岱遺

跡の食文化を探る」が開催



四月(うづき)

2日 空港アクセス道路東西線中屋敷トンネルの貫通式が行われる

6日 春の交通安全運動はじまる

6日 春の火災予防運動初日、中央公園で町消防団・婦人消防隊の一斉放水訓練が行われる

13日 春のクリーンアップ

15日 省庁別職員宿舎の起工式が行われる

22日 東京で「住民が選択した町の福祉」の特別上映会とトークショーが行われ、岩川町長が町の福祉の現状について意見を述べる

24日 「道の駅たかのす」に

多目的情報提供システムを備えた休憩施設が完成、開所式が行われる



25日 空港ターミナルビルの起工式が行われる

26日 第三十五回河田杯マラソン大会が約三百人の参加で行われる

28日 褒章受章者が発表され、裁判所調停委員として九島武雄氏(元町)が藍綬褒章を受章

29日 春の叙勲受章者が発表され、勲五等双光旭日章に地方自治功労の成田稔氏(住吉町)と消防功労の成田正直氏(四渡)、勲六等単光旭日章に消防功労の山城忠治氏(七日市)、勲六等瑞宝章にへき地保健衛生功労の佐藤ミヤ氏(帰道)が受章

五月(さつき)

4月27日～5月5日 鷹巢中央公園桜まつりが開かれ、たくさんの人でにぎわう



17日 鷹巢阿仁青年会議所の創立十周年記念式典が開催

29日 鷹巢祇園太鼓振興会が青少年育成功労団体として県表彰を受ける

30日 中央公民館定期講座の「開講のつどい」が二百人をこえる受講者が出席して開催される

30日 保健補導員・結核予防婦人会指導員大会が保健センターで開催

六月(水無月)

1日 竜ヶ森山開きが行われ、夏山登山の安全を祈願

3日～5日 全日空グループや首都圏旅行代理店による一回目の観光地現地研修が行われ鷹巢阿仁地域を視察

5日 第五回鷹巢町育樹祭が慶祝森林自然公園で開催

6日～7日 第七回花火大会、第十三回ふるさと踊りと餅つきまつりが開催され、大勢の観客でにぎわう

9日 雇用促進住宅が完成し、入居式を行う

10日 町議会六月定例議会が開会(二十日閉会)

11日 アジア諸国社会福祉行政官十人が鷹巢町の福祉施策や施設を研修する

15日 大館北秋八市町村と北秋田土木事務所などから約二百五十人が参加して、米代川河川敷で水防訓練が行



われる
29日 町教育委員会主催の文化財めぐりが行われ、町内外から四十人が参加

七月(文月)

2日 約三百人が参加して、社会を明るくする運動の集會が行われる
2日 交通安全子ども自転車大会で竜森小が全県優勝し二年連続全国大会に出場
6日 町内各分団員約三百五十人が参加して「鷹巣町消防訓練大会」が開かれる



9日 西小のアルミ缶回収活動で六台目となる車イスが町社福協に贈られる
13日 県少年少女陸上競技大会の男子四百メートルリレーで南小が優勝し全国大会

に出場

15日 アドバイザーに東北大学助教教授・外山義氏を迎えて、福祉のまちづくり全体会を開催
16日 遺跡や文化財のあり方を考えるため、文化遺跡ワーキンググループが発足



19日～20日 ホークスサミットで友好関係にある東京都三鷹市の「みたか商工まつり」に当町の物産協会などが参加し「鷹巣の味」を売り込む
24日～27日 第二十八回全国家庭婦人バレーボール大会で、鷹巣愛好会が見事準優勝に輝く

八月(葉月)

8日 協神地区農業集落排水

事業処理場建設の起工式が行われる

8日 鷹巣町出身の直木賞作家、渡辺喜恵子さんが逝去された

14日 町出身者と町民の親睦と情報交換の場である「ふるさと交流プラザinたかのす」が開かれる
14日～15日 町民盆踊り大会が開かれる

15日 新成人(対象者三百七十二人)が参加して鷹巣町成人式が行われる



21日 第七回鷹巣町ひまわりコンクール審査会

29日 文化遺跡ワーキンググループ主催、県教育庁文化課長の富樫泰時氏による講演会が開催

31日 第三十五回町民体育祭バーベキュー交流会が町民

約二千人が参加し開かれる

九月(長月)

2日 平成九年度鷹巣町花だんコンクール審査会

5日 第十七回鷹巣町発明工夫展審査会

5日 町議会九月定例議会が開会(十八日閉会)



7日 大太鼓の館野外特設会場に約五千五百人の大観衆を集め「大響祭97」を開催

7日 鷹巣、栄地区敬老式
14日 七日市地区敬老式
15日 七座、坊沢、綴子、沢口地区敬老式

19日 あきた北空港アクセス道路のシンボル橋「蟹沢大橋」の連結式が行われる

21日 竜森小学校創立百二十周年記念式典が行われる

21日 クリーンふるさとデーで全町一斉にクリーンアップが行われる

21日 秋の全国交通安全運動が始まる(三十日まで)

24日 二十一世紀に的確に対応できるまちづくりをめざして「臨空都市たかのす」まちづくり検討委員会が発足

24日 秋の全国交通安全運動が始まる(三十日まで)



25日 鷹巣、合川、上小阿仁

の三森林組合が合併して来年四月の設立をめざす北秋田森林組合の合併予備調印式が行われる

25日 鷹巣町海外研修団(团长 岩川徹町長)一行十九人が福祉先進国デンマークとスウェーデンに向け元気に出発(十月六日帰町)

28日 第九回一〇〇キロチャレンジマラソンが過去最高の千六百二十人が参加して行われる



十月(神無月)

7日 鷹巣町が在宅福祉事業推進功労で厚生大臣表彰

8日 ケアタウン施設建設工事の起工式が行われる

8日 鷹巣高等学校創立三十

周年記念式典が行われる

10日 「町民健康の集い」が開かれる

11日 全国地域安全運動の初日、犯罪のない社会を訴え車両パレードが行われる

14日 16日 全日空グループや首都圏旅行代理店による二回目の観光地現地研修が行われ秋の観光資源を調査

19日 あきた北空港開港イベントが行われ、約一万五千人が開港目前を実感



22日 全日本男子バレーボール鷹巣大会が開かれ、約千五百人の観衆がトップレベルのプレーを楽しむ

26日 鷹巣南中学校創立五十周年記念式典が行われる

30日 長年の生涯学習活動が評価され、中央公民館が文部大臣表彰を受賞

十一月(霜月)

10月31日 11月3日 鷹巣町文化祭(産業祭は1日 3日)が開催



3日 平成九年度鷹巣町芸術文化奨励賞受賞式

3日 三内丸山遺跡対策室主任の岡田康博氏を講師に文

化講演会が開催

3日 秋の叙勲受章者が発表され、小塚君子さん(堂ヶ岱)が水位観測業務功労で勲六等瑞宝章を受章

5日 フライトチェックのため、あきた北空港の滑走路に飛行機が初めて着陸



9日 伊勢堂岱遺跡の調査現地報告会が開かれる



13日 鷹巣町社会福祉大会と老人福祉大会が開かれ、福祉功労者やダイヤモンド婚

金婚の方々が表彰される

15日 福祉のまちづくりワーキンググループ全体会が開かれ、東洋大学教授・大友

信勝氏の講演会が行われる

16日 男女共同参画社会づくりフォーラムが開催

23日 住民サイドに立つた福祉行政をめざす「福祉自治体ユニット」の設立総会が開かれ、岩川町長が代表幹

事の一人に選出される

24日 第十回東京鷹巣会が盛大に開催される

25日 臨空都市「たかのす」まちづくり検討委員会の第二回目が開かれ、基本計画について検討された

十二月(師走)

7日 第十五回公民館まつりと生涯学習交流会が開催

8日 町議会十二月定例議会が開催

いろいろなことがあったこの一年、みなさんにとってはどんな年だったでしょうか。よい年をお迎えください。

福祉自治体
ユニット設立

福祉は市町村の責任で

——岩川町長が代表幹事に選出——

福祉自治体ユニット（住民サイドに立つ福祉行政を進める市町村長の会）の設立総会及び設立記念シンポジウムが十一月二十三日、東京青山ウイメンズプラザで行われました。

岩川町長をはじめ、「福祉行政は市町村で！」という意気込みの全国八十一の市町村長が会員となり発足したもので、会場には入り切れないほどたくさん一般の方も訪れました。

岩川町長は、総会で四人の代表幹事のひとりに選ばれ、シンポジウムでは、「福祉は生活そのもの、住民と行政が共同で取り組むことが大切」とこれまでの経緯を踏まえて意見を述べました。



岩川 徹 鷹巣町長

当日は、午前中に設立総会、午後からは二部構成からなるシンポジウムが開催されました。

総会では、会則、事業計画、予算の承認や、役員を選任が行われ、会を代表する代表幹事には、岩川町長、坂本祐之輔市長（埼玉県東松山市）、森貞述市長（愛知県高浜市）、光武頭市長（長崎県佐世保市）の四名が選出されました。

午後からは、たくさんのお来賓を代表して、樋口恵子氏（東京家政大学教授・介護の社会化を進める一人市民委員会代表）が応援の祝辞を述べたあと、第一部「未来の福祉を担う自治体首長とは」と題したシンポジウムが行われ、コーディネーターに大熊由紀子氏（朝日新聞論説委員）、宮武剛氏（毎日新聞論説副委員長）のもと四人の代表幹事がシンポジストとなり、それぞれの市や町における取り組みや今後の自治体福祉行政のあるべき姿について意見を交換しました。

第二部では、村田幸子氏（NHK解説主幹）をコーディネーターに「福祉自治体への転換と地域行政の課題」と題したシンポジウムが行われ、そのなかで樋口恵子氏は、様々な分野で広く活動している同氏らしく、介護保険、地方分権、男女同権などについて言及しました。

岡本祐三氏（神戸市看護大学教授）は医師として、特に介護保険制度創設に深く関わった立場から「介護は投資である」という側面も紹介しながら、



●市町村長の代表による第一部のシンポジウム

ら、介護に積極的に取り組んだ市町村が政治的・経済的に有利になると論じました。

さらに、池田省三氏（自治総研政策研究部長）は、平成十二年度に導入される介護保険に的を絞って、市町村にはそれまでに「介護基盤を整える」責任があることを強調しました。

また、渡辺俊介氏（日本経済新聞論説委員）は、デンマークでは市の予算の約八パーセントが福祉と教育に使われており、日本でも予算の配分転換が検討されるべきだという見解を述べました。

辻哲夫氏（厚生省大臣官房政策課長）も、自治体のこれからの福祉行政への転換には、人づくり・システムづくりが重要であると語りました。以下、第一部の概要について紹介します。

生活重視、福祉優先

坂本市長 私は、市長になって以来「ノーマライゼーション」、つまり、障害があってもなくても暮らしていける市にすることを目標としています。そのため「生活重視、福祉優先」を政策の最優先課題とし、これができ次第他の事業に取り組みうと考えています。

二十四時間ホームヘルプサービスと、三百人もボランティアに支えられた三百六十五日配食サービスがこれまでの主な成果となっています。これらの活動や「ノーマライゼーション」について、市民の皆さんの理解をさらに深めてもらうため、毎週駅でこのことを訴えかけています。



●ユニットを支援する人たちの代表による第2部のシンポジウム

首長、職員、市民の意識改革

森市長 「住みなくなるまち高浜」、「安心を託せるまち」をめざして施策を進めています。

時代の流れは「地方分権」です。今後市民には「自己決定」「自己責任」の原則がこれまでより強く求められることが予想され、意識の改革が必要となります。同時に、自治体の首長、職員の意識改革も必要です。

役所の「前例主義」「減点的評価」を排除し、目的意識を持った「攻めの行政」が重要です。職員には、「できない」ではなく、「いかにやるか」を考えること、リスクを負う覚悟でチャレンジすること、市民の感覚を忘れないよう感性を磨くことを方針に指導しています。

保健・福祉の一体化

光武市長 これからの福祉行政は、介護支援センターにしても保健センターにしても、地域に密着した小規模化が必要です。そして、保健・福祉の一体化を図ることも大切です。

佐世保市では、現場の保健婦さんと話し合い、市民を「広く浅く」ではなく、一人ひとりを「深く」把握できるよう、これまでの体制と姿勢を改め、積極的な訪問活動を展開しています。

また、国全体をみると、高い貯蓄率が示すように、国民は老後に不安を持っています。これを解消するには、中途半端ではない介護政策（予算の重点化）を進めることが重要となります。

住民と行政の共同作業

岩川町長 政治とは、国民の安全や人権を保障することですから、市町村においては、特に介護を含めた福祉行政を進めるべきです。

そして、どのように進めるかについては、福祉は生活の現場そのものですから、住民の側に立った施策を行うためには、住民参加により住民と行政が共同で取り組むことが重要となります。

鷹巣町では、住民がワーキンググループをつくり、できることは自分たちでやってきましたし、行政もその前提として情報を公開し、提言を実現することで結果を出してきました。

これにより、住民と行政の間に信頼感が生まれ住民も自信をもって活動することができたと思っています。

これらを受けてコーディネーターから、介護保険についての質問があり、岩川町長は「要介護認定を含め、市町村が公的責任を持たなければならぬ」と述べるなど、介護や福祉施策についての持論を展開しました。



●500人も聴衆が熱心に聞き入っていました

祝 十周年 東京鷹巢会

なつかしい人たちがふるさと談義に花を咲かせる



民謡のステージに、会場からは身をのり出して拍手が……

十一月二十四日、設立十周年を記念する「平成九年度東京鷹巢会総会・懇親会」が東京八重洲富士屋ホテルを会場に開催されました。

午前中には映画「住民が選択した町の福祉」の上映が行われ、首都圏在住の会員の方々が大勢かけつけ、熱心に鑑賞していました。

町からは町長、議長などのほか、商工会長、J A理事の方々、公募による一般町民の方々、民謡の河田かつ子さん一行など多数参加し、十周年を盛大に祝いました。

懇親会では、民謡の演奏や鷹巢町の特産品の即売が行われ、抽選会で無料往復ペア航空券が当たるなど、会場は多に盛り上がりました。

参加者は、開港が間近に迫ったあきた北空港や伊勢堂岱遺跡の話題など、なつかしい人たちとともに、ふるさと談義に花を咲かせていました。



▲岩川町長も自慢のノドを披露！



▲うれしい！航空券が当たりました



▲今年もなつかしい顔が再会

なつかしの再会

松葉町 伊藤義直さん

毎年この時期に、新聞や広報に掲載される東京鷹巢会の様子を拝見して、ぜひ一度は参加したいと思っておりましたところ、今回の十周年記念行事の一般参加者の募集を見て、さっそく応募しました。幸運にも参加できることになり、在京の方々と再会できるのを今か今かと楽しみにしておりました。

当日は、東京鷹巢会の十周年を祝福するかのような晴天で、会場は熱気に包まれ、知人・友人とふるさと談義に花を咲かせ、話題は尽きませんでした。同級生九人で二次会、三次会と時のたつのも忘れて満喫した東京での忘れられない一日でした。

最後に、東京鷹巢会に参加させていただき楽しい思い出ができましたことを、心から感謝申しあげます。



▲ご兄弟と一緒にニコッ！
(中央が伊藤さん)

全国大会で友好の輪

―鷹巣バドミントン同好会―

十一月十六日から三日間にわたり沖縄県で開催された、第十回全国スポーツ・レクリエーション祭の年齢別バドミントン大会に出場した鷹巣バドミントン同好会チームの成田肇監督がこのほど役場を訪れ、全国大会出場の報告を行いました。

この大会は「きらめくちゅうらうみ、ふれあうげんき」をスローガンに、参加者の技と心の交流を深めることを目的に開かれたものです。

秋田県代表として出場した同チームは、初戦を飾ったものの、愛媛県と北海道に惜敗し、決勝出場はなりませんでしたが、成田監督は「全国の仲間と交流を深め、友好の輪を広げることができ、うれしく思っています」と語っていました。



「ふるさとの味」が大好評

―ふるさと便を首都圏などへ発送―

ふるさと鷹巣を離れ首都圏などに在住するふるさと会の方々に町の特産品や農産物を送る「ふるさと便」の第一便が、このほど発送されました。

ふるさと会の会員は年々増えており、「鷹巣町のふるさと便は安くて内容がいい」と大好評です。

今回送られたのは、会員の間で最も人気のある「きりたんぼセット」で、今月末には「ふるさとの味で正月を」と鏡餅やしめ飾り、長いもなどのお正月セットが送られる予定となっています。

皆さんもふるさとの味を贈ってみませんか。くわしくは、今号「暮らしの情報」をごらんください。



竜ヶ森に鳥居を建立

―鷹巣森林組合が寄贈―

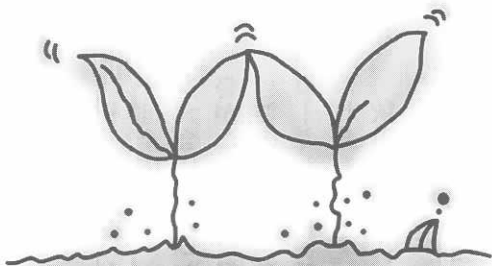
鷹巣、比内両町にまたがる竜ヶ森（一、〇四九メートル）にこのほど、鳥居が建立されました。

竜ヶ森は、登山道沿いに巨大なブナが林立するなど、豊かな自然に恵まれており、比較的楽なコースで登れるため、シーズン中は家族連れや登山愛好者でにぎわっています。

山頂には、これまで小さなほこらしかありませんでしたが、鷹巣町森林組合（藤島直一組合長）が鳥居を寄贈し、このたびの建立となったものです。

この鳥居は、高さ約一・五メートル、幅約一メートルでヒバ材を使用しており、つややかな色合いが神々しさをかもし出しています。鳥居の建立により、登山の安全など信仰のよりどころになるものと登山愛好者からも喜ばれています。

福祉メモ



介護保険制度について (四)

鷹巣町福祉のまちづくり ワーキンググループ 福祉行政サービ

先回にひきつづき介護保険
法案について素朴な疑問を採
り上げてみます。

保険料の自己負担額はどのく
らいになるのでしょうか？

制度スタート時に推定され
る自己負担額の全国平均は、
大企業のサラリーマン（組合
健保）月額1700円程度
中小企業のサラリーマン（政
府管掌健保）月額1300円
程度
自営業（国保）月額1200
円程度
65歳以上で年金天引きの人
月額2500円程度
と予想されます。

しかし、保険料率は明示さ
れている訳ではなく、法案成
立後は、新人口推計で高齢化
の進展があり若干金額にも影
響があるかもしれません。

サービスの金額、サービスの
量はどんなものでしょうか？

町役場に申請し、要介護認



定を受けると、要介護、要支
援、要調査、自立（非該当）
に大きく分けられ、本人に通
知されます。通知後、ケアプ
ランをたてて実行されるとい
う手順をふみます。利用でき
るサービスは、要支援者には

「予防給付」、要介護者には
「介護給付」という給付制度
で、全国一律に予定されてい
ます。また、全国一律のサー
ビスの他に「市町村特別給付」
とあって鷹巣町が独自の条例
により定めるサービスを行う
ことができるようです。

例えば、「移送サービス」
「寝具乾燥サービス」、介護
研修、介護者の交流会、一人
暮らしの被保険者の配食サー
ビスなどです。鷹巣町は全国
にくらべ、福祉行政のレベル
が高いので、介護サービスの
基盤の面では安定している
と思われ、質量共に更にきめ
細かいサービスが期待できそ
うです。

さて、数回にわたり介護保
険法案の骨格部分を掲載して
いますが、政府が2000年
からの導入を目指して参議院
で審議中のこの法案の本身は
300項目もの膨大な政省令
等にゆだねられており、さま
ざまな不透明な部分も見受け
られ、今後充分に審議されて
いく事と思います。なかなか
難しい内容ですが、私たちも
関心をもって今後の動向を見
守っていく必要があると思
います。
(京)

平成9年度 第3回 生き生き健康教室のご案内

～健康で住みよい町づくり、前進のために～

- 日時／12月17日(水) 午後1時
- 会場／鷹巣町保健センター
次回は1月20日(火)です

- 内容／●健康メモ
- 「糖尿病予防とこわい合併症」
講師 遠藤クリニック院長
遠藤 勝實氏

◎お問い合わせ 鷹巣町保健センター ☎62-6666

12月の健康ごよみ

生命の貯蓄体操（初心者教室）

※動きやすい服装でバスタオルを持っておいでください。

◎初心者教室の日程と時間

（午前9時半～11時半）

- 日程 第10回 12月16日(火)
 第11回 12月24日(水)
 第12回 1月8日(木)

場所 鷹巣町保健センター



定例 健康相談

- 日程 24日(水)
 時間 午前10:00～12:00
 午後 1:00～ 3:00
 場所 鷹巣町保健センター
 内容 血圧測定、健康相談、尿検査
 「お酒と肝臓」

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

日	曜	医療機関名	電話番号
15	月	奈良医院	62-1146
16	火	佐藤外科消化器科医院	62-1420
17	水	鷹巣病院	62-1210
18	木	盛岡外科医院	62-1101
19	金	佐々木産婦人科医院	63-0105
20	土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
21	日	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
22	月	近藤医院	62-1155
23	火	北秋中央病院	62-1455
24	水	藤原医院	62-2882
25	木	遠藤クリニック	63-0515
26	金	たむら内科クリニック	63-2700
27	土	津谷内科	62-2261
28	日	奈良医院	62-1146
29	月	としま医院	62-1267
30	火	佐藤外科消化器科医院	62-1420
31	水	北秋中央病院	62-1455

◎応急の診察を要する患者。
 ◎往診はしておりません。
 ◎仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

妊婦の方

◎母子健康手帳交付と第1回母親学級

- 日程 15日(月)
 時間 受付 午後1:00～1:10
 終了 午後3:00頃
 場所 鷹巣町保健センター
 持参 印鑑

子育てサークル

- 日程 15日(月)
 時間 午前10:00～11:30
 場所 鷹巣町保健センター
 内容 親子遊び、話し合い、子育て相談

平成9年8月生まれのお子さんのいる方

◎4ヵ月児健康診査

- 日程 18日(木)
 時間 受付 午後1:00～1:15
 場所 鷹巣町保健センター
 持参 母子健康手帳・バスタオル

平成9年5月生まれのお子さんのいる方

◎7ヵ月児育児相談

- 日程 18日(木)
 時間 受付 午前9:30～9:45
 場所 鷹巣町保健センター
 持参 母子健康手帳・バスタオル

生命の貯蓄体操

生命の貯蓄体操で健康づくりにチャレンジしてみませんか。

※動きやすい服装でバスタオルを持っておいでください。

◎各会場の日程と時間

- (午前9時半～11時半)
 鷹巣町保健センター 15・22日
 太田児童館 16・24日
 綴子基幹センター 17・24日
 坊沢公民館 17・24日
 七日市基幹センター 18・25日
 (午後7時～9時)
 地域福祉センター 17・24日
 沢口林業センター 18・25日

第33回読書感想文 第1回読書感想画 コンクール

【作品募集要項】

●**応募資格** 応募者は、原則として鷹巣町に在住している方、または通勤通学している方とし、次のように区分します。

読書感想文

a 小学校の部 b 中学校の部 c 高校の部

d 一般の部 e 親子読書の部

読書感想画

小学校の部のみ

●内容

読書感想文：読んだ本（作品）についての感想を綴ってください。ただし、教科書、雑誌は対象外とします。

読書感想画：読んだ本（作品）についての感想を絵に描いてください。

●字数及び用紙

※400字詰原稿用紙をご使用ください。

※小学校の部は原稿用紙3枚以内とし、その他の部については5枚以内とします。

※感想画は、四つ切り版の白画用紙を用い、水彩画とします。

●応募先等

鷹巣町材木町2番3号

鷹巣町立図書館（たかのす風土館内）

※小・中学生は、所属する学校を通じて応募してください。

※作品には、応募票を添付してください。

一般の方は、図書館と各公民館に応募票があります。

●しめきり 平成10年1月23日（金）

●審査 応募作品の審査は、主催者が委嘱した審査員によって行います。

●発表 平成10年3月中旬に『町広報』等で発表するとともに、所属する学校を通じて通知します。一般の応募者には直接通知します。

●表彰 特選、入選、佳作とし、賞状と記念品を授与します。

※平成10年2月28日（土）たかのす風土館ホールで表彰式を行います。

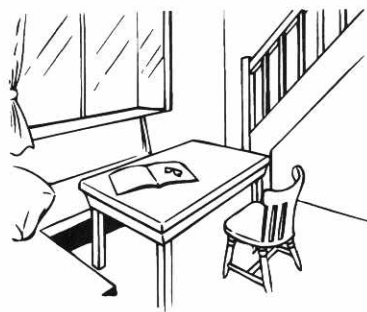
●主催 鷹巣町教育委員会・鷹巣町読書会

●後援 秋北新聞社・県北新聞

◎お問い合わせ

鷹巣町立図書館（ファルコン） ☎ 62-3311

作品を募集します



年末年始の役場や施設の休みについて 皆さまのご理解とご協力をお願いします

年末年始の期間、役場や各施設など次のとおり休みますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

なお、役場での各種証明書などの交付手続きはあらかじめ12月26日（金）まで済まされるようお願い申し上げます。

「●」は休みの日です。それ以外は平常どおり行います。



役場・中央公民館	鷹巣体育館	湯ノ岱温泉	大太鼓の館	地域福祉センター	菟森コミュニティセンター	青葉荘	図書館	ファルコン・子供風土記館	ゴミの埋立地への搬入	ゴミの収集	日
●											26日（金）
●											27日（土）
●											28日（日）
●	●		●	●	●	●	●	●			29日（月）
●	●		●	●	●	●	●	●			30日（火）
●	●	午後から	●	●	●	●	●	●	●		31日（水）
●	●		●	●	●	●	●	●	●		1日（木）
●	●		大太鼓 叩き初め	●	●	●	●	●	●	●	2日（金）
●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	3日（土）
●					●	●			●	●	4日（日）
					●						5日（月）

水道の検針日の変更

水道の検針日を12月22日（月）～24日（水）に変更します。

冬期間の、メーターのまわりの除雪にご協力ください。犬などのペットを飼われているの方は管理にもご配慮をお願いします。



ふるさと便のお知らせ

今年も次のとおり発送します。どうぞご利用下さい。

【贈答用セット】

◆きりたんぼセット（比内鶏肉、きりたんぼ、スープ、舞茸、ネギ、セリ、ゴボウ等5人分） 毎週金曜日、好評発送中 5千円

◆お正月セット（供え餅、松、ゆずり葉、しめ縄、切り餅、きな粉、長いも等） 12月26日発送 6千円

品目は多少変更になることがあります。

●注文締め切り日 12月19日

◎ご注文は

鷹巣町ふるさと会事務局

〒018-33 秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

鷹巣町役場農林課農政係 ☎

0186-62-1111（内線262）FAX0186-

62-0887

行政相談 今月は18日

行政についての不満や要望がありましたら、どんな小さなことでも遠慮なく申し出て下さい。

相談は無料で秘密は固く守

ります。お気軽にご利用ください。

●時間 午前10時～午後3時

●場所 鷹巣町中央公民館

●行政相談員 近藤栄一（☎62-2110）

ヤングわいわい クリスマスパークライ参加者募集

町内外に在住している若い方を対象に、お互いの交流と情報交換をしながら、楽しくクリスマスパーティーをしませんか。

思い思いの仮装や個性的な服装でおいでください。当日は仮装コンテストも行われ、みごと大賞の方には豪華な景品！？もあります。

お友達同士で、お気軽にご参加ください。

●期日 平成9年12月20日

（土）午後7時から9時

●会場 鷹巣町中央公民館

●会費 男性1000円 女性500円（飲食費等含む）

●しめきり 12月19日

●主催 鷹巣町教育委員会・ヤングわいわいくらぶ

◎お申し込み 鷹巣町教育委員会 生涯学習課 ☎62-1111（内線425番）

111（内線425番）

秋田県物品供給業者登録資格審査申請受付

●対象者 県が発注する物品の購入等に際し行う指名競争入札に参加を希望する営業者

●受付期間 平成10年1月5日（月）～平成10年2月2日（月）

●申請書の交付及び受付場所 各地方部県民生活室（県総合庁舎内）

●お問い合わせ先 県出納局管財課 ☎0188-6012739又は各地方部県民生活室

年末年始の犯罪及び事故防止運動

12月15日（月）～1月3日（土）

鷹巣警察署・鷹巣町防犯協会

年金だより 45

国民年金基金を

ご存知ですか

国民年金基金とは、農業や自営業の方などの国民年金の保険料を納めている第一号被保険者が加入できる公的な年金制度です。

新たに国民年金基金に加入することにより、従来の国民年金に必要な年金を上積みすることができます。

ご自分で、老後のライフプランに合わせた将来の年金設計ができます。

（「国民年金の第一号被保険者」であつても農業者年金の加入者や国民年金の保険料を免除されている方は加入の対象になりません）

国民年金基金に加入した場合、次のようなメリットがあります。

一、掛金は、自分の老後の年金設計によって選ぶことができます。



慶弔だより

11月16日～30日まで届出分・敬称略



お誕生おめでとう
ございます

成田	かの香野 (鎮真子)	二女	今泉
佐藤	たまき環希 (浩正)	三女	四渡
佐々木	りょう 諒 (敦垂)	長男	幸町
畠山	せな 瀬奈 (春真)	長女	あけぼの町
藤原	りょうた 諒太 (正昭)	長男	舟場



お二人の前途を
祝福します

小笠原	まこと 信	松葉町
堀部	さとみ 聡美	葛黒
吉岡	やすひろ 保裕	宮前町
高杉	かおり 孝克	大館市
津谷	たかよし 孝克	平成町
安部	えりこ 恵里子	合川町
畠山	もとゆき 宗之	大町
佐藤	のりこ 紀子	男鹿市

おくやみ申し上げます

九嶋	ヨシ (74歳)	田中
成田	隆三 (90歳)	綴子下町
藤島	キサ (70歳)	舟場
長岐	キヌ (68歳)	小森
大川	リヨ (89歳)	綴子下町
津谷	明男 (54歳)	南鷹巣
村上	春治 (82歳)	旭町
簾内	ミエ (77歳)	今泉
藤島	悦子 (57歳)	綴子下町
柏谷	孝二 (67歳)	摩当

(株)秋田内陸縦貫鉄道 旅行案内

光と雪と氷のフェスティバル
札幌雪まつりの旅

小樽にて毛ガニ・タラバ足・
ズワイガニ二足食べ放題!!

●旅行期日 2月6日(金)～
9日(月)

●募集人員 40名(最少催行
人員 25名)

●旅行代金

大人1人 51,800円
小人1人 44,800円

(鷹巣駅から)

※添乗員が同行します。

◎お申し込み 秋田内陸縦貫

光 ☎82-3666 鷹巣旅行
センター ☎60-1111

秋田内陸線観光 鷹巣旅行センター

秋田内陸線観光では鷹巣駅
舎内に9月11日より鷹巣旅行
センターを開設しております。

お気軽にご利用ください。

●取り扱い業務

・団体旅行及び個人グループ
旅行の企画

・JR乗車券及び指定券、航
空券、旅館クーポンの取り扱い

・JRびゅうプラザとの提携
による企画旅行

・沿線地域の観光案内及び情
報の提供

香典返し

▼村上義直さん(掛泥)より
亡母トヨさんの香典返し

▼米澤幸雄さん(糠沢)より
亡母ジヨさんの香典返し
▼千葉良美さん(中屋敷)より
亡父勝次さんの香典返し

赤い羽根 共同募金



皆さまのご協力で
6,918,418円
ありがとうございました

税の納期限

12月25日まで

固定資産税第4期

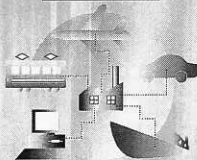
製造事業所の皆さまへ

12月31日現在で、次の調査が同時に行われます。

平成9年工業統計調査 平成9年石油等消費構造統計調査

工業統計調査

平成9年12月31日



通商産業省
都道府県市区町村

年末から年始にかけて調査員がお
伺いします。

なお、調査票に記入していただ
いた内容については、統計法に基づき
秘密が厳守されますので正確な記入
にご協力ください。

◎お問い合わせ

鷹巣町役場 総務課文書統計係 ☎62-1111内線223

冬 到来! 除雪と雪の処理 について お願い!!

いよいよ本格的な冬の到来です。雪の除排雪は冬期間のたいへんな作業ですが、車や歩行者の安全でスムーズな通行を確保するため、次の事項を守り、処理をお願いします。

◎みなさんへのお願い

- 路上に駐車しないでください。(除雪車が通れなくて困る場合があります)
- 道路に雪を出さないようにしてください。(交通事故などの原因にもなります)
- 家の出入口付近に歩道がある場合は、歩行者や車の通行の支障にならないようにしてください。
- 屋根からの雪が路上に落下しないようにお願いします。
- 雪囲いなどは道路にはみ出さないようにしてください。
- 雪の重みなどで路上にはみ出た枝は通行上大変危険ですし、除雪車の接触により折れる場合があります。あらかじめ枝払いをお願いします。
- 排雪のため上げた側溝のフタは、終了後すぐに元に戻してください。(歩行者・自動車等の事故のもとになります)

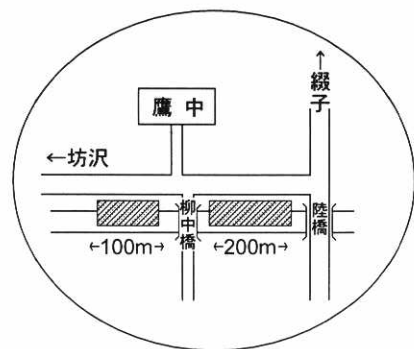
町で指定する 雪の捨て場所

雪捨ては、次の指定箇所へお願いします。(雪以外のゴミ等は絶対捨てないようにお願いします)

- ① 鷹巣橋下流650メートル
- ② 今泉橋上流左岸10メートル
- ③ 前山橋下流右岸10メートル
- ④ 綴子橋上流左岸10メートル
- ⑤ 綴子橋下流、柳中橋間200メートル及び柳中橋下流100メートル間



- ⑥ 小猿部橋上流左岸10メートル
- ⑦ 中屋敷橋上流左岸10メートル
- ⑧ 七日市横瀨橋下流10メートル



⑧七日市横瀨橋下流10メートル
栄橋の雪捨て場は、昨年廃止になりました。

ゴミ集積所付近の除雪管理 についてもお願いします

雪のためにゴミ集積所が狭くなると、各家庭から出されるゴミが集積所から離れたところに置かれ、収集作業に支障がでることになります。

冬期間は、集積所の状況をよくご覧になり、集積所のスペースを確保するため、集積所付近の除雪管理をお願いします。

Q & A

Q: 朝起きたら雪が積もっているのに、なぜ除雪車が来ないのですか?

A: 早朝の除雪車の出動は午前3時の降雪状況で判断しますが、出動してから4時間ほど(通勤ラッシュ前)で終了できるような作業範囲で行っています。早朝の確認以降や除雪後の降雪については、交通渋滞や安全面から、8時30分以降の日中除雪で対応しますのでご理解を。(役場建設課)

除雪のお問い合わせは

- △国道七号▽
建設省能代事務所大館出張所 (☎0186-4910321)
- △国道105・285号、県道▽
北秋田土木事務所 (☎62-3111)
- △町道▽
鷹巣町役場建設課 (☎62-1111)